

# 広島湾のウミウシ研究

山陽女学園高等部 サイエンス同好会  
吉田 早希 福川 ももこ

## 【要約】

ウミウシは、貝殻をもたない巻き貝の仲間であり、日本近海には約 1400 種類が棲息する<sup>(1)</sup>。しかし、数あるウミウシの研究著書やガイドブックに、瀬戸内海のウミウシが記載されていない。そこで、私たちは広島湾のウミウシの調査を行った。1年間の観察記録をもとに、ウミウシのデータベースを作成し、季節と出現率、および、海水温と出現率の関係について調べたところ、水温と密接な関係があることが分かった。また、冬から春にかけて、多彩なウミウシが観察され、この時期、交尾活動・産卵も多く観察される。

## 【ウミウシの体構造】

日本固有の種であるドーリス類・アオウミウシで紹介する<sup>(2)</sup>。巻き貝の貝殻部分が退化した体構造をもつため、陸上のナメクジと類似している(写真1)。鰓呼吸をしており、ドーリス類は、鰓が背面に花状に配置され、その中心に肛門がある(写真2)。また、前方に触角を持ち、触角で餌や交尾相手を検知している。触角の付け根に目があるが、明暗がわかる程度でほとんど機能していないと考えられている(写真3)。



写真1



写真2



写真3

\* 写真提供 1, 2…吉本 幸夫氏 写真3… L.M.MARINE

## 【調査方法】

ダイビングショップ L.M.MARINE 様ご協力のもと、公式サイト<sup>(3)</sup>の海況情報を中心に、2018年10月から、2019年9月までに観察されたウミウシを記録し、それをもとにデータベースを作成した。観察場所は、主に広島湾内の白石灯台と小黑神島である。

## 【結果】

62種類のウミウシが観測された。

一年中観測されるウミウシと季節限定で出現するウミウシに分かれたが、夏は種類が少なく、冬は種類が多かった。

南方系の種が観測…センヒメウミウシ・アユカワウミコチョウなど

北方系の種が観測…シロホクヨウウミウシ

## 【考察】

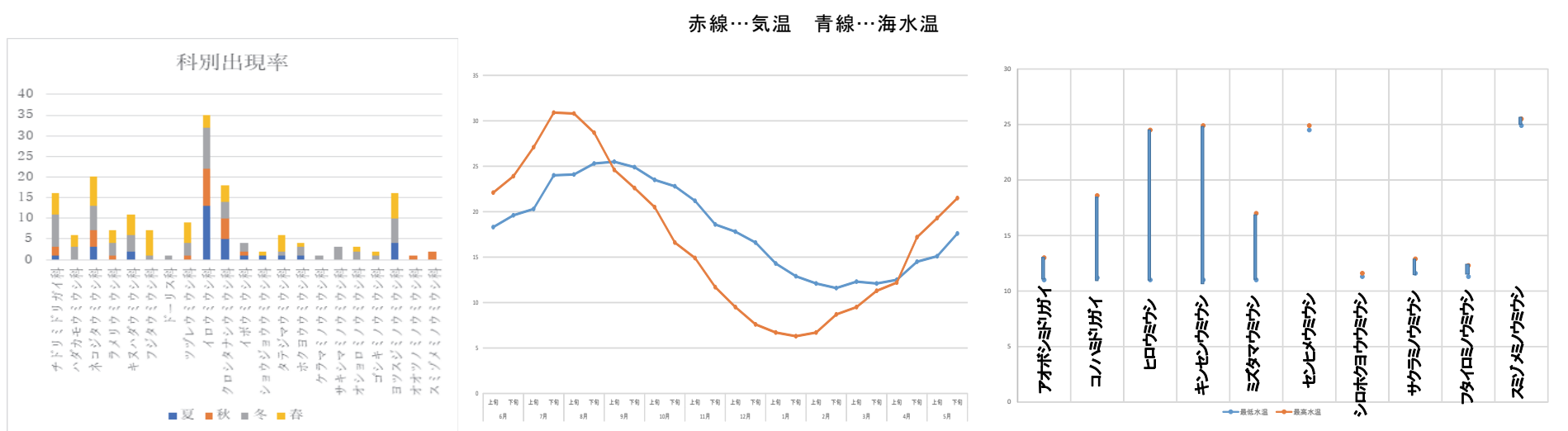


図1 季節別の出現率

図2 広島湾の海水温と気温

図3 代表的なウミウシの生息水温

表 高知県・和歌山県との比較

広島湾	高知	和歌山	広島湾	高知	和歌山	広島湾	高知	和歌山
1 アメフラシ			21 スミノメキヌハダウミウシ			41 ショウジョウウミウシ		
2 フレイトゲアメフラシ		○	22 キンセンウミウシ			42 ダイオウタテジマウミウシ		
3 アズキウミウシ			23 ミズタマウミウシ			43 ホソハスエラウミウシ		
4 クロミドリガイ			24 エダウミウシ	○	○	44 カメキオメウミウシ		
5 オトメドリガイ			25 ヒカリウミウシ			45 コガネマツカサウミウシ		○
6 コノハドリガイ	○	○	26 ニシキリュウグウウミウシ		○	46 ホクヨウウミウシ		
7 ヒラミドリガイ		○	27 オオクリュウグウウミウシ			47 シロホクヨウウミウシ		
8 アオボシドリガイ	○	○	28 ヤマトウミウシ			48 サキシマミノウミウシ		○
9 アリモウミウシ	○	○	29 ゴマフビロードウミウシ	○		49 セスジミノウミウシ	○	○
10 トウヨウモウミウシ			30 イソウミウシ			50 フタイロミノウミウシ		
11 ヒメクロモウミウシ			31 シロウミウシ	○	○	51 ホシアカリミノウミウシ		
12 サガミコネウミウシ	○	○	32 サラサウミウシ	○	○	52 ゴシキミノウミウシ	○	○
13 コネウミウシ	○	○	33 コモンウミウシ	○	○	53 フジエラミノウミウシ		○
14 コトヒメウミウシ	○	○	34 シラヒメウミウシ	○	○	54 ヒブサミノウミウシ		
15 ヒロウミウシ	○	○	35 アオウミウシ	○	○	55 ナガヒゲミノウミウシ		
16 イバラウミウシ			36 シラクキウミウシ	○	○	56 アカエラミノウミウシ		○
17 ムツイバラウミウシ			37 クロシタナシウミウシ			57 サクラミノウミウシ		
18 ミツイバラウミウシ	○	○	38 ミヤコウミウシ	○	○	58 ホソエラワグシウミウシ		
19 アカボシウミウシ	○	○	39 マダラウミウシ			59 スミノメミノウミウシ		○
20 キヌハダウミウシ			40 キイロイボウミウシ	○	○	60 クリヤイロウミウシ		○
						61 ガーベラミノウミウシ		○
						62 センヒメウミウシ		○

## 【結論と課題】

和歌山県や高知県などの太平洋沿岸で観測されるウミウシの多くが広島湾で観測された。

出現率は、主として海水温が関係しているが、餌の影響も複雑に絡んでいると考えられる。

北方系のシロホクヨウウミウシについては、広島湾の冬の海水温が低いため、繁殖に至ったと考えられる。

今回の研究で、飼育に最適な水温が分かったので、今後は実際にウミウシを人工飼育して、交尾活動・産卵の様子を観察したい。

## 【参考文献】

- (1)「ネイチャーガイド 日本のウミウシ」 中野理枝 著
- (2)「へんな海のいきもの うみうしさん」 中野理枝 著

## 【調査協力・情報提供】

ダイビングショップ L.M.MARINE / 吉本 幸夫氏